



めがねミュージアムのショップは最新フレーム3,000本以上を取り揃える



### めがね産業を、暮らしの糧に。

福井にめがね産業が誕生したのは、1905(明治38)年のこと。現在の福井市麻生津地区の生野という村で、農閑期の副業として始まりました。礎を築いたのは、福井市に本社がある増永眼鏡株式会社の創業者・増永五左衛門です。

五左衛門は大阪からめがね職人を招き、村の人々に技術を学ばせると同時に教養を身につけさせ、独立を促しました。分業化を進めた福井市南部と鯖江市は一大産地に。めがね作りを始めて6年、博覧会に出品した福井のめがねは、優秀な賞を受賞することとなります。



左/増永五左衛門翁銅像  
上/生野地区にある増永五左衛門の顕彰碑

### めがねスポットで、めがねを身近に感じよう。

昭和50年代に入ると、チタンを使っためがね作りに着手。加工が難しいチタン研究に業界全体で取り組み、福井のめがねは世界中から高く評価される存在となりました。今や福井は「眼鏡フレーム日本一」の産地として、ゆるぎない地位を確立しています。

福井市～鯖江市には、めがねにまつわる場所が点在していて、観光スポットとしても人気です。鯖江市のめがねミュージアムには「めがね博物館」があり、映画「おしよりん」の撮影に貸し出されたかつてのめがね作りの道具が展示されており、間近で見学できます。



映画に登場する道具「車地」(しゃち)



めがねミュージアム  
福井県鯖江市新横江2-3-4  
☎0778-42-8311

### マチナカで、めがねモチーフを発見!



JR鯖江駅前のモニュメント  
階段にさりげなくめがね  
柵もめがね型  
福井鉄道浅水駅のめがねベンチ

## 福井ロケの思い出を 監督とキャストに、語っていただきました。

本作品の舞台である福井には、いまだに古くからある建造群や大自然があちこちに残されています。かつての庄屋には土間や厩、立ち上がる炭の煙で漆黒になった柱や梁がありました。そこには間違いなく過酷な環境下で懸命に生きた先人たちの息遣いが残っていました。今回の限られた予算の中で作品の出来を左右する重要な場所の一つが当時の眼鏡工場でした。ほぼ原寸に近い廃校になった建物を探し当てた時の興奮はいまだに忘れられません。ちょっと大きすぎますが運命的であり、宿命のでもありました。

さらにはロケで伺った先々での丹精込めた手作りのおもてなしの数々は忘れられません。これにはロケ隊の全員が感嘆しました。なにより、過酷で楽しい撮影の活力となりました。これこそが、まさにオール福井の作品だと心から感謝を申し上げる次第です。



児玉 宜久監督

福井ではたくさんの方々のご協力をいただき、撮影を無事に終えることができました。ロケで出していた福井の美味しい食べ物や、差し入れていただく羽二重餅も忘れられません。お家のロケセットは風情があって素敵でした。本当の家に帰ってきたというような感覚になるほど、落ち着く場所でした。鯖江のメガネやお米に包丁、陶器などもプレゼントしていただき、福井には様々な名産があることを知りました。撮影が休みの日には鯖江へメガネを作りに行ったり、福井県立恐竜博物館に行ったりしました。恐竜が好きなのでとても楽しく、幸せな時間でした。恐竜をモチーフにした食べ物や飲み物をレストランでいただきました。7月にリニューアルした博物館も楽しみだなと思っています。



北乃 きいさん

鯖江にある「白樺ホルモン」は、地元の方に「服に臭いがめっちゃつくからな〜」と言われましたが、洗えば落ちるけどその臭いを落とすたくないくらい、このお店のホルモンの味が今でも蘇ります。日本酒「黒龍」は美味しく、大好きになりました!福井で頂いた日本酒をまだ大切にしているの、撮影時を思い出しながら少しずつ味わいたいと思います。僕はキャンプが好きで、撮影の休みには紹介してもらったキャンプショップ「NATURE TONES」へ行きました。すると、まさか僕が愛用しているギアが「NATURE TONES」さんのものと分かり、ご縁を感じました。それをきっかけに、僕の誕生日イベントで「シエラカップ」をコラボで作らせていただきました。本当に出会いに感謝ですね。



森崎 ウインさん

# オール福井ロケ! 映画「おしよりん」ロケ地MAP



メガネが、彼らの〈せかい〉を変えた。

# おしよりん

文部科学省選定(青年、家庭向き)  
北乃きい 森崎ウイン  
駿河太郎 高橋愛 秋田沙梨 磯野貴理子 津田寛治 榎本孝明 東てる美 佐野史郎  
かたせ梨乃 小泉孝太郎  
監督:児玉宜久 原作:藤岡陽子「おしよりん」(ホブラ社) 脚本:園之り香 児玉宜久 エンディング曲:MORISAKI WIN「Dear」(日本コロムビア)  
製作総指揮:斎藤忠志 プロデューサー:河合広美 ラインプロデューサー:堀川浩亮 撮影:伊藤正人 照明:森岡隆典 録音:林昭一 監音:堀川浩亮 記録:日原美希子 編集:村上雅樹 美術:斎藤幸之助 装飾:鈴木高志  
衣裳:田中洋子 ヘアメイク:岡村佳子 助監督:宮崎剛 制作担当:相良高 制作プロダクション:広業 トライフィルム 配給:KADOKAWA 製作:「おしよりん」製作委員会 ©2023 KADOKAWA JAPAN AIRLINES JR東日本グループサービス



日本の眼鏡の95%を生産する福井。ゼロから立ち上げた兄弟と、二人を支え続けた妻の、情熱と愛の物語

## 2023.10.20(金)福井先行公開! 11.3(金・祝)全国公開!

発行 福井市おもてなし観光推進課

